

応用哲学会第6回年次大会(2014年) タイムテーブル

5/10(土)

	A会場(M704)	B会場(M705)	C会場(M601)	D会場(M401)	E会場(M402)	F会場(M304)
9:55	S-1 諸岡優鷹 夢は主観的なものか 客観的なものか 【司会: 柏端達也】	S-2 飯塚理恵 新悪霊問題と 徳認識論 【司会: 笠木雅史】	S-3 鈴木真奈 その文は何を指し示しているのか: 1950年代『Mind』誌上における嘘つき図論争より見えるもの 【司会: 矢田部俊介】	S-4 安倍里美 肉食をやめるべき理由の検討 【司会: 神崎宣次】	S-5 横路佳幸 「同一性」の非指標的文脈依存性: 緩い意味と厳密な意味における同一性の適切な解釈に向けて 【司会: 久木田水生】	S-6 石田尚子 ネルソン・グッドマンにおける虚構と心的イメージの考察 【司会: 高田敦史】
10:20						
10:25	L-1 蝶名林亮 Dancyの道徳的説明を巡る議論について 【司会: 柏端達也】	L-2 源河亨 美的知覚と美的判断 【司会: 西村正秀】	L-3 大谷卓史 競争と協力のルールとしての情報プライバシー: ドラマトゥルギー理論を手掛かりとする情報プライバシー理解の試み 【司会: 水谷雅彦】	S-7 久保田さゆり 哲学的議論における「動物の権利」と法学的議論における「動物の権利」 【司会: 神崎宣次】	S-8 木田翔一 チャーメーズの認識的二次元意味論と事象的な思考 【司会: 久木田水生】	L-4 青山太郎 映像表現におけるフィクション概念の検討—震災の(記憶)のために 【司会: 高田敦史】
10:50						
10:55				S-9 村上祐子 論証構成スキルと異業種共同 【司会: 伊勢田哲治】	S-10 仲宗根勝仁 二次元意味論における認識的可能性について 【司会: 小山虎】	
11:15						
			11:20			
11:25	L-5 三谷尚澄 人はいつ、いかにして理由の空間の住人となるのか 【司会: 成瀬尚志】	L-6 吉沢文武 谷川卓 一方が害したのか、それとも一緒に害したのか—反事実条件的比較説の修正方針を検討する— 【司会: 江口聡】	L-7 Andrew Oberg After the Snowden Leaks: Considering Government Surveillance from a Broader Perspective 【司会: 大谷卓史】	L-8 神崎宣次 環境保全の研究倫理: 現段階での取り組みと困難について 【司会: 伊勢田哲治】	L-9 横山達郎 多角的言語論と重ね描き 【司会: 小山虎】	L-10 高田敦史 図像的フィクショナルキャラクターの問題 【司会: 西條玲奈】
12:15						

(理事会 M703)

	A会場(M704)	B会場(M705)	C会場(M601)	G会場(M706)	H会場(M602)
13:15	W-1 西條玲奈 源河亨 松永伸司 田邊健太郎 音楽作品の存在論にもの申す—知覚の哲学と芸術の哲学からの批判と応答	W-2 大庭弘継 伊藤丈人 高澤洋志 高橋良輔 「時間の政治倫理」を構想する: 哲学者との対話による論点の抽出	W-3 伊勢田哲治 有賀暢迪 増田耕一 松王政浩 気候シミュレーションの人文学	W-4 本田康二郎 宮林正恭 戸田山和久 技術論(1) ~技術とリスク	W-5 鈴木貴之 笠木雅史 鈴木真 メタ哲学ワークショップ: 哲学に直観は必要か
15:15					

15:20	総会 (M706)
15:50	

16:00	シンポジウム (M706) 戦争における民間人保護の論理: 現代の戦争にどう向き合うか? 大庭弘継(南山大学)「不可避の犠牲: 国際政治学のリアリストの立場から」 眞嶋俊造(北海道大学)「武力紛争の正義: 民間人保護の立場から」 松元雅和(関西大学)「非軍事介入のすすめ: 平和主義の立場から」 司会兼討論者: 上村崇(福山平成大学)
18:15	

応用哲学会第6回年次大会(2014年) タイムテーブル

5/11(日)

	A会場(M704)	B会場(M705)	C会場(M601)	D会場(M401)	E会場(M402)	F会場(M304)
10:00	S-11 福家佑亮 政治的リベラリズムと潜在能力アプローチは両立可能か？ —スバウムを中心に— 【司会:鈴木真】		S-12 谷内悠 〈宗教・呪術・科学〉を巡る分析哲学的考察と認知宗教学 —合理性概念を中心に— 【司会:蔵田伸雄】	S-13 下山惣太郎 出来事の意味はいかにして可能となるか——ルーマンのシステム理論を通じて 【司会:直江清隆】	S-14 竹中利彦 ケアの倫理と「孝」の形而上学 【司会:品川哲彦】	S-15 宮澤由歌 ジョルジュ・バタイユの生命主義の要請 【司会:小田裕二郎】
10:30	L-11 鈴木聡 功利主義の測定理論的および論理的基礎 【司会:村上祐子】	L-12 北野孝志 戦争と技術哲学 —技術哲学への一視点 【司会:眞嶋俊造】	L-13 小野山敬一 《生命/生物、生活》:生命論とタクソンの存在論 【司会:横山輝雄】	L-14 寺本剛 被曝労働についての倫理的考察 【司会:直江清隆】	L-15 山口尚 非難の哲学 ——その本質と条件 【司会:品川哲彦】	L-16 小田裕二郎 欲望と言葉の構造 —ラカンにおける欲望のグラフ— 【司会:出口康夫】
11:20						
11:25	L-17 久保啓文 倫理学は価値・規範の認知について語るべきか —ハーバーマスのディスクール倫理学に対する認知主義的倫理学からの批判— 【司会:三谷尚澄】	L-18 森岡正博 「ブギュー!!!」によって何が伝達されたのか —まんがによる哲学の可能性と限界 【司会:奥田太郎】	L-19 千葉将希 種カテゴリーは実在するか 【司会:横山輝雄】	L-20 栗山雅俊 「偏向報道」とジャーナリズム—メディアに求められる「倫理」とは？ 【司会:上村崇】	L-21 対馬大気 行為者とは何か ——二種類の制御能力を手がかりに—— 【司会:佐々木拓】	L-22 谷内洋介 物語的自己的障害としての統合失調症—前駆期から急性期にかけての対人関係の現象学的分析— 【司会:出口康夫】
12:15						

	A会場(M704)	B会場(M705)	C会場(M601)	G会場(M706)	H会場(M602)
13:15	W-6 久木田水生 近藤和敬 鈴木俊洋 八杉満利子 数学に対するオルタナティブ・アプローチ	W-7 成瀬尚志 成田秀夫 杉谷祐美子 山本啓一 レポート評価について考える	W-8 櫻本直樹 服部俊子 大北全俊 病院という組織を対象とした倫理を考える	W-9 直江清隆 大石敏広 金光秀和 技術論(2) ～設計と倫理問題	W-10 玉地雅浩 福澤知大 矢野俊史 上杉繁 脳卒中後遺症者の歩行の擬似体験を目指す装置開発過程から考える出来る事と出来ない事 —歩くという営みについて哲学と工学と理学療法学の汀から考える—
15:15					
15:20	W-11 矢田部俊介 五十嵐涼介 梶本尚敏 非古典論理の哲学的意義		W-12 眞嶋俊造 蔵田伸雄 奥田太郎 鈴木真 専門職倫理・応用倫理学関連領域における汎用型教育コンテンツの研究と開発:日本語版のレビューと英語版の試行	W-13 比屋根均 鈴木俊洋 打田憲生 技術論(3) ～知的プロセスとしての設計	W-14 久木田水生 浦田悠 舟木徹男 森岡正博 山口尚 人生に意味はあるのか？ —心理学、宗教学、哲学の視点から
17:20					

*受付は西館1階、レストラン“ミュージズ”前です。受付開始は、5月10日は9時、5月11日は9時20分です。それより早い時間には、ご対応できない場合がありますので、ご注意ください。

*当日の大会参加費は、学会員500円、非会員1,000円です。その場で入会することも可能です。入会・学会費納入受付は、12時～15時までです。

*懇親会は、10日(土)の18時30分からレストラン“ミュージズ”にて開催されます。ぜひご参加下さい。懇親会参加費は3,500円です。なお、菜食メニューもご用意する方向で現在調整中です。

キッズルーム M701

会員控室 M702

大会実行委員 M703